

2023年10月8日（日）メッセージアウトライン 「人生を変える出会い」

聖書箇所：出エジプト記3：1～6

タイトル：「人生を変える出会い」

初めに：人生には多くの出会いがありますが、全ての人々の人生を決定的に変える出会いについて考えてみましょう。

この世に誕生した時の両親との出会い、友達、先生方、伴侶、さらには新しい家族との出会いなど、人生は出会いに満ちています。

その中で、私たちの人生を決定的に変えたのは、救い主イエス・キリストとの出会いです。

旧約聖書には、天地万物の創造主、唯一まことの神に出会った人々の物語があふれています。

今日はその中でも、出エジプトを果たしたモーセが聖なる神との出会いによって、どのように変えられていったかを一望しながら、イエス・キリストに出会わせていただいた私たちがどのように変えられてきたかを重ね合わせてみたいと思います。

まだ、成長途上にある一人一人がさらに何を目指して歩んで行けば良いのかを、しっかりと学んでまいりましょう。

## 1. モーセの人生（出エジプト記3：1～申命記34：7）

◎モーセの人生の三つの時代区分と各時代の意味するところ

①ヘブル人の子として生まれ、神の摂理によりエジプトの王子として過ごした40年  
自分の力でヘブル人同胞をエジプト人の手から助けようとした。これに失敗。

②ミディアンの荒野で、エジプトからの逃亡者として過ごした40年

この時代は、モーセは羊飼いと暮らした。モーセの忍耐力と知恵を養う時でもあり、人間の無力さを体験する時でもあった。これが最終的に次の時代にイスラエルの民をエジプトから約束の地へと導くリーダーとして神に仕えていく原動力となった。

③聖なる神の召しに応じて、その使命を果たした40年

聖なる神との出会いはモーセを決定的に変えた。神のみ言葉に従い、イスラエルの民をエジプトから約束の地へと導くリーダーとして、神に仕え通した。良き後継者ヨシユアを育て、一つの不信仰の罪ゆえに約束の地には入れなかったが、それを眼下に見ながら、神からの使命を全うして120年の生涯を閉じた。天にある神の約束の地を待ち望みつつ。

## 2. 聖なる神との出会い（モーセの人生の新しい出発点）

①モーセを呼ぶ神の声に応答したモーセ——「はい、ここにおります」（出2：4）

②履き物を脱ぐようにと言われた神（出2：5）

③聖なる地、聖なる神——「聖」とは何を意味するのか？（出2：5）

\*「聖」と「清」は違う。聖書、聖夜などと使われているが、「聖」とは、本来、～から分たれている、分離しているという意味を持つ。

\*聖なる神——いかなるものからも分離されたお方、いかなるものも並ぶことのできない超越者。聖なる地は聖なる神がおられる場所を意味する。

\*履き物を脱ぐとは単に裸足になることを意味するのではない。当時の奴隷はくつを履くことが許されなかった。履き物を脱ぐ行為は、自らは相手の奴隷であることを示し、主人に対する服従を表わす行為でもあった。さらに、罪人として汚れた道を歩んできた者は、そのままでは聖い神のもとに近づくことはできないことも意味する。

3. 聖なる神に近づくために

①旧約の時代

レビ記は聖なる神に近づくための祭儀法を示している。聖い神に罪人である人間はそのままでは近づくことができず、その罪を贖うために動物の犠牲の血が要求された。

②新約の時代（救い主イエス・キリストが来られてから）

\*イエス・キリストがこの地上に人として来てくださってからは、聖なる神に近づく唯一の方法は、イエス・キリストを神の子、救い主として信じお従いすること。

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければだれも父のみもとに行くことはできません。」（ヨハネ14：6）

\*イエス様は、「履き物を脱いでわたしに近づけ」とは私たちにおっしゃらずに、一度も罪を犯したことの無い聖い神の御子が、父なる神の御前にへりくだり、私たちが神の御前に脱ぐべき履き物を脱いで（聖い神の御子は罪なきお方なので履き物を脱ぐ必要がない）徹底的に父なる神に従われ、十字架の死に至るまで従順であられた。イエス様の十字架と埋葬と復活の事実こそ、信じる者に、罪の赦し、死からの解放、サタンに対する勝利を与え、永遠のいのちの保証としての聖霊を与えてくださるという驚くべき恵みのみわざなのである。

4. 結論

①私たちのキリストにある人生を振り返ってみよう。各自の人生を神がどのようにつくり変えてくださったか。（モーセに似た信仰のステップがあったことを考える）

②モーセの目指したもの、私たちの目指すものは何か。——約束の地に入る希望を抱きつつ、与えられた使命をやり遂げる。

聖なる神との出会いは、私たちを自己中心から神中心へと造り変えてくださった。